

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】下川町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
24	2008.3.31			北海道	下川町	4,146	644.2
構想の要約		地域の基本財産である森林を活かし環境に配慮したまちづくりを推進するため、林地残材や木質系資源作物などの木質バイオマスを、燃料として公共施設等の暖房や給湯に活用し、温室効果ガスの排出削減や循環型社会の構築を目指す。更に、廃食用油の燃料化も推進する。					
構想に盛り込まれた事業		①公共施設への木質バイオマス活用 ②ペレット等製造施設・活用 ③木質系資源作物栽培 ④BDF・バイオエタノール					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他( )		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

未利用系バイオマス 40%以上

未利用系バイオマスについては、林地残材と街路樹選定枝が利用されていないことから、除伐材や不良材の林地残材等の40%以上の利用を目指す。更に今後発生が予想される建設副産物の利用を推進する。

また、廃棄物系バイオマスについては、現在すでに全体で99.8%を利用しているが、利用率の低い廃食油のBDF化を推進することにより、全体としてさらなる利用率の向上を目指す。なお、廃食油については、現在の16%から100%へ利用率の向上を目指す。

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

全体概要図なし

## 【木質バイオマスの利活用】



町内工場廃材等



林地残材等



ヤナギ栽培



建設副産物



チップ加工施設



ペレット等製造施設

バイオエタノール  
実証プラント

五味温泉  
幼児センター

公共施設での暖房等  
・あけぼの園  
・山びこ学園  
・役場庁舎  
・地域暖房 等

小規模施設での暖房  
・小規模公共施設  
・民間住宅  
・農業用ハウス 等

公用車等

## 【廃食油の利活用】

廃食油

BDF加工施設

は、利用可能なバイオマス又は既存施設

は、今後利用可能なバイオマス又は整備予定施設

### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)